

阿蘇市の農業を担う 若者たちが大活躍! (阿蘇中央高校・阿蘇清峰高校)



2



1



3



4

4年の研究が実を結び 地球温暖化防止環境大臣表彰 (阿蘇清峰高校)

石油燃料を使用しないイチゴのハウス栽培に、長年研究し取り組む阿蘇清峰高校生物科学科に、地球温暖化防止環境大臣表彰が授与されました。これは、地球温暖化防止の功績が認められたもので12月14日、東京都において表彰式が行われました。

同科の生徒(42名)は、冬場の寒さが厳しい阿蘇市でのイチゴのハウス栽培において、燃料代経費が農業経営を圧迫していることから、経費を抑える方法がないかと4年前から取り組んできました。

研究では、わき水をヒ-

トポンプ装置で熱源に変換し、タンクの水を温めて放熱しハウス内に送風する装置を製作。夏場の冷房装置としても利用できるのとこと。10アールの施設に対し約130万円程度と、比較的安価な費用で導入でき、経費抑制と二酸化炭素排出を削減できるとして、既に市外の2戸の農家が導入しており、順調に稼働し大変喜ばれているとのこと。

「農家の皆さんにぜひ利用してもらいたい」と、推進に意欲を見せる同科の福原伸実習教師。

同科の野菜専攻班で中心となって研究に取り組んだ黒川雅史さん(3年)は「大臣賞を受賞したと聞いて大変驚いた。今年度で閉

校になるが、最後の学校生活でこの取り組みに携わり受賞することができ良い経験ができた」と満足そうに話していました。

やっぱり美味しい阿蘇のお米! 二つのコンテストで上位入賞! (阿蘇中央高校)

全国の農業高校で育てられた米を競う「全国農業高校お米甲子園」において、阿蘇中央高校阿蘇清峰校舎農業食品科で栽培した米(品種・ヒノヒカリ)が、

1次・2次審査を突破し特別優秀賞を受賞しました。本大会は昨年から開催されているもので、昨年は最上位の金賞を受賞しており、2年連続での入賞です。また、11月26日に開催さ

れた「第5回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」では、予選は一般審査員が実際に米を食べ比べて審査するもので、高校生部門において見事優良賞を受賞しました。昨年度も優秀賞を受賞しており、2年連続の受賞は同校のみでした。

審査方法が違う二つのコンテストにおいて、いずれも入賞を果たしたことで、「おいしい阿蘇のお米」が実証される結果となりました。

同校が栽培する米は、雑草の成長を抑制する効果があるペーパーマルチ田植機により植え付けし、完全無農薬で計140アールを作付しており、東京のイベントや老舗デパートから利用依頼があるなど大変評判がよく、同科の後藤至成教諭は「阿蘇のお米は美味しいということをもっと知ってほしい。高い評価を得て『阿蘇の米』というブランドとしてこれから注目されるだろう」と期待を寄せていました。

1 東京都内で行われた受賞式の様子。阿南純一さん(3年、写真中段左から5番目)が代表して記念撮影に並びました。

2 ハウス内で受賞を喜ぶ黒川さん。

3 ヒートポンプ装置。

4 米の栽培に携わる佐藤一さん(2年)。「受賞した米は今まで食べた中で一番おいしい!」と自信たっぷりに話す佐藤さん。



きもの装いコンテスト九州大会 1位、世界大会へ 中野康子さん

▶ 2012年日本と心と美の祭典



▲仕上がり審査の様子。
右から3番目59番が
中野さん

全日本きもの装いコンテスト九州大会が12月11日、熊本県立劇場で開催され、カジュアルの部に出場した、中野康子さん（東3区）が、見事第1位に選ばれました。このコンテストは「きもの文化」の振興を目的に行われているもので、競技は、出場者が一齐にステージ上で着装を行い、いかに短い時間で美しく装うことができるかで、中野さんは帯結びの仕上がりもよく高い評価を受けました。また、留袖の部に出場した斉藤りかさん（分3区）も好成績を収め、二人はなんと、4月8日、東京のNHKホールで行われる世界大会への出場が決定しました。



また同ステージで、子どもたちによる「装道礼法基本動作」も行われ、阿蘇市から碧水小学校5年の菊池菜月さん、菊池詩織さん、三角園紗代さんが出場。大舞台上で礼法（マナー）の練習の成果を披露しました。

峰入り時代の観音像が見つかる

▶ 坂梨と滝室を結ぶ古道「願成就坂」の岩場に鎮座



▲専門家による調査の様子

▶ 岩場で発見された
観音菩薩像

昭和初期頃まで波野と一の宮間の生活道として歩かれていた道があった、坂梨の山中で、江戸時代の石像3体が発見されました。この3体は、55年ほど前、山中のお堂が崩壊しそうだったため、地元長老の市原猛さんら数人が近くの岩場に移動したものの、それ以後行方がわからなくなっていたもので、『峰入り』の修行道でもあったこの道の復興に現在取り組む阿蘇北外輪山トレッキング協議会（阿南善範会長）の皆さんが数日間捜索にあたられ発見したものです。会では早速、専門家（福岡県文化財保護指導委員・佐々木四十臣氏）による調査を実施。2体は観音菩薩像、1体は乙護法で、江戸期のものと判明。修行道であるため乙護法はまだいくつか見つかるはずと推測されました。



阿蘇は山岳信仰のメッカ。それによる地域おこしが今後も進展しそうです。

阿蘇は山岳信仰のメッカ。それによる地域おこしが今後も進展しそうです。

※峰入り 平安から江戸時代、修行僧や山伏などが、古坊中を中心に菊池鹿本、黒木、星野、津江を経て北外輪山や高岳の峻険な岩場を、全工程70里を40日かけ踏破する過酷な修業

※乙護法（おとごほう） 仏法を守るために姿を現す、童子姿の鬼神

立派な門松がお目見え！ 社会奉仕として公共施設に設置していただきました！

市公共施設の管理業務などを行っている(株)ASOワークネットの職員の方々が、社会奉仕として市役所玄関とあそ☆ビバに門松を設置していただきました。

市役所玄関前に設置された門松は、市職員と共同で約2時間かけて制作したもので、高さ約2m70cmの大変立派な門松です。ぜひご覧ください。



退職交通指導員に感謝状を贈呈



▲佐藤市長から感謝状を贈呈される岩永さん。

阿蘇市交通指導員を退職された方に対する感謝状贈呈式が12月8日、市役所で行われ、今年10月末に退職された岩永浩さん（町1区）に市長から感謝状が贈呈されました。

岩永さんは、昭和48年に旧一の宮町の交通指導員として就任以来、38年間にわたって街頭指導やイベント等における交通指導を務められ、市の交通事故防止に大きく貢献されました。

交通指導員は、毎月3回の街頭指導をはじめ、交通安全運動期間中の活動やイベント等における交通指導にご尽力いただいています。

九谷焼の名匠、武腰敏昭氏が坂梨小で指導



日本を代表する九谷焼の名匠、武腰敏昭氏（日展常務理事、石川県、71歳）が、11月30日、「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」で、坂梨小学校を訪れ、優れた芸術を子どもたちに披露しました。

この事業は、最高峰の芸術家である「日本芸術院会員」自らが学校を訪問し実技披露を行い、文化芸術活動の素晴らしさや、夢を持って生きることの大切さを伝えるもので、児童たちは、九谷焼の皿の絵付けに挑戦。武腰氏は「自分の得意なものを素直に書く。度胸が要る。弱さが出ないように」と筆入れを指導。

初めての阿蘇訪問に「芸術家の目から見ても大変素晴らしい所」と絶賛されていました。

無病息災を願い冬至の「ゆず風呂」



二十四節気の一つである冬至（12月22日）に合わせ、一の宮高齢者センターで、センターを利用する皆さんの無病息災を願い「ゆず風呂」が振る舞われました。

柚子は近くにお住まいの志賀伊郎さんと山部賢次さんから毎年提供いただいております。利用者は柚子の香りで漂う温泉を楽しんでいました。



平成24年2月1日現在で『経済センサス・活動調査』を実施します。

「経済の国勢調査」です。
全国すべての事業所及び企業が対象です。



調査票は、平成24年1月末日までに調査員がお届けします。調査票が届きましたら、ご記入をよろしくお願い致します。どうぞご協力をお願いいたします。

■提出された内容は統計作成の目的以外（税の資料など）には、絶対使用しません。

総務省・経済産業省・熊本県・阿蘇市

【お問い合わせ】 企画振興課 企画調整係 ☎ 22-3169